

V. 参考文献・付録

参考文献

- Commonwealth Games Federation ウェブサイト <http://www.thecgf.com/>
- Glasgow2014 ウェブサイト <http://www.glasgow2014.com/>
- London & Partners ウェブサイト <http://www.londonandpartners.com/>
- Nichols, G. and Ralston, R. (2014) Volunteering for the games. In V. Girginov (Ed.), Handbook of the London 2012 Olympic and Paralympic Games: Volume two: Celebrating the games. Routledge.
- Sport England(2013). Active People Survey7.
- Sport England(2014). Volunteering Insight: Report for Sport England March 2014.
- グラスゴー2014 組織委員会(2014). XX Commonwealth Games Post-Games Report.
- 厚生労働省(2013)「平成 25 年就労条件総合調査」
- (公財)笹川スポーツ財団(2011). スポーツ政策調査研究報告書.
- (公財)笹川スポーツ財団(2013). 青少年のスポーツライフ・データ 2012-10代のスポーツライフに関する調査報告書
- (公財)笹川スポーツ財団(2013). 中央競技団体现況調査.
- (公財)笹川スポーツ財団(2014). スポーツライフ・データ 2014.
- (公財)笹川スポーツ財団(2014). スポーツ白書 2014.
- スポーツにおけるボランティア活動の実態等に関する調査研究協力者会議(2000). スポーツにおけるボランティア活動の実態等に関する調査研究報告書.
- スポーツ祭東京2013実行委員会(2014). 東日本大震災復興支援スポーツ祭東京2013(第 68 回国民体育大会・第 13 回全国障害者スポーツ大会)報告書.
- (株)東洋経済新報社(2013)「CSR 企業総覧 2014」
- (一社)日本経済団体連合会(2013)「2012 年度 社会貢献活動実績調査」
- 日本スポーツボランティア学会(2008). スポーツボランティア・ハンドブック. 明和出版.
- 文部科学省(2009～2013). 総合型地域スポーツクラブ育成状況調査.
- 文部科学省(2012). スポーツ基本計画.
- 山口泰雄(2004). スポーツボランティアへの招待—新しいスポーツ文化の可能性. 世界思想社.

公認スポーツ指導者の活動状況に関する調査

本調査は、平成 26 年度文部科学省「スポーツにおけるボランティア活動*活性化のための調査研究（スポーツにおけるボランティア活動を実施する個人に関する調査研究）」にかかる調査の一部であり、スポーツ指導者の活動状況をおうかがいするものです。

アンケート結果は、統計的に集計され、文部科学省のホームページ等を通じて広く公開されるとともに、スポーツボランティア活動活性化と「支えるスポーツ」推進のための具体的方策策定の基礎資料として活用されます。お忙しいところ誠に恐れ入りますが、アンケートの趣旨をご理解の上、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

※ここでいうボランティア活動とは、報酬を目的としないで、自分の労力・技術・時間を提供して地域社会や個人・団体のスポーツ推進のために行う活動のことを意味します。ただし、活動に必要な交通費等の実費程度の金額の受け取りは報酬に含めません。

＜回答方法＞ 郵送によるご回答

同封の返信用封筒（受取人払い）にて以下の宛先までお送りください。

（郵送先） 株式会社サーベイリサーチセンター 調査事務局

〒116-8581 東京都荒川区西日暮里 2-40-10

※調査票の発送・回収・データ入力については、笹川スポーツ財団の委託先である株式会社サーベイリサーチセンターが担当しております。調査の実施について、不明な点などがございましたら、下記までご連絡ください。

（株）サーベイリサーチセンター 調査事務局 担当：伊藤・福田・小林

〒116-8581 東京都荒川区西日暮里 2-40-10

Tel：0120-974-658（平日 9:00～17:00）

ご回答期限：平成26年8月31日

【あなたのスポーツ指導活動についておたずねします】

問1 あなたは、現在職業としてスポーツの指導を行っていますか（学校運動部活動の顧問を含む）。

（〇はひとつ）

1 はい

2 いいえ

問1-1 あなたは、過去1年間に1回以上スポーツの指導を行いましたか。

（〇はひとつ）

1 はい

⇒ p.2の問3へ

2 いいえ

⇒ p.5の問13へ

問2 あなたは、職業としてのスポーツ指導のほかに、過去1年間に無償または実費程度の謝金*等を受けてスポーツ指導を行いましたか。（〇はひとつ）

※ここでいう「謝金」とは、雇用関係のある「給与」としての報酬は含めません。

1 はい

⇒ p.2の問3へ

2 いいえ

⇒ p.5の問13へ

【あなたが過去1年間に行った無償または実費程度の謝金等を受けてのスポーツ指導活動についておたずねします】

問3 あなたは過去1年間に、職業としてではないスポーツ指導を行った際に謝金や交通費・弁当などを受け取ったことがありますか。(○はひとつ)

1 はい 2 いいえ ⇒ 問4へ

問3-1 「1 はい」とお答えした方におたずねします。

具体的に、何を受け取りましたか。(○はいくつでも)

また、1回あたりの金額をご記入ください。

注) 複数回受け取っている場合は、平均的な金額をお答えください。

1 謝金	⇒	平均〔	〕円
2 交通費	⇒	平均〔	〕円
3 弁当代(食事・弁当の現物支給含む)	⇒	平均〔	〕円
4 その他()	⇒	平均〔	〕円

問4 ご自身の指導に対する謝金等の受け取りについてどのようにお考えですか。(○はひとつ)

- 1 弁当や交通費などの実費分も含めて謝金を受け取りたい
- 2 謝金は必要ないが、弁当や交通費などの実費分は受け取りたい
- 3 謝金も弁当・交通費などの実費分も必要ない
- 4 その他(具体的に:)

問5 あなたが指導に携わる主な組織や場所はどこですか。(○はいくつでも)

- | | |
|----------------|----------------------|
| 1 スポーツ少年団 | 2 学校運動部活動 |
| 3 総合型地域スポーツクラブ | 4 自治体等が主催する運動・スポーツ教室 |
| 5 障がい者スポーツ団体 | 6 各種スポーツ競技団体等 |
| 7 その他(具体的に:) | |

問6 あなたが指導している対象はどのような人たちですか。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------|----------|
| 1 幼児 | 2 小学生 |
| 3 中学生 | 4 高校生 |
| 5 大学生・短大生・専門学校生 | 6 一般成人 |
| 7 高齢者 | 8 障がい児・者 |
| 9 その他() | |

問7 あなたが**無償または実費程度の謝金等を受けて**指導している主な運動・スポーツ種目や指導年数、頻度、1回あたりの指導時間をご記入ください。

注) 複数ある場合は、最も指導頻度の高い種目についてお答えください。

(1) 主な種目	
(2) 指導年数	〔 〕年
(3) 指導頻度	年間 〔 〕日
(4) 指導時間	1回あたり平均 〔 〕分

問8 あなたの勤務先にはボランティア休暇※制度がありますか。(○はひとつ)

※ボランティア休暇とは、社会・地域貢献活動を支援する休暇のことをいいます。

1 ある 2 ない 3 わからない	⇒ 問9へ
-------------------------	-------

→ 問8-1 あなたが行っているスポーツ指導等の活動のために、過去1年間にボランティア休暇を利用しましたか。(○はひとつ)

1 はい (利用日数: 〔 〕日)	2 いいえ
-------------------	-------

問9 あなたが**無償または実費程度の謝金等を受けて**のスポーツ指導活動を行う理由は何ですか。(○はいくつでも)

1 自分の知識や経験を活かしたい	2 指導活動を通して地域社会に貢献したい
3 団体・チームの活動を活発にしたい	4 スポーツの楽しさを教えたい
5 いろいろな人と出会いたい	6 余暇時間を有効に過ごせる
7 自分自身が成長したい	8 団体・チームの心の支えになりたい
9 過去に自分も指導をしてもらった	10 自分自身が健康になれる
11 新しい知識や経験を得たい	12 日常生活に張り合いを与えてくれる
13 団体や関係者から依頼された	14 指導活動を通して自分自身がスポーツを
15 スポーツ指導の専門職として働くための	楽しみたい
経験を積みたい	
16 その他 ()	

問 10 あなたが無償または実費程度の謝金等を受けてのスポーツ指導活動を行ってよかったと思うことは何ですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|----------------------|-----------------------------|
| 1 いろいろな人と出会えている | 2 自分の知識や経験を活かしている |
| 3 スポーツの楽しさを教えることができる | 4 団体・チームの活動が活発になっている |
| 5 自分の技術や資格が役立っている | 6 余暇時間を有効に過ごしている |
| 7 自分自身が成長できている | 8 地域社会に貢献できている |
| 9 選手やチームのレベルが向上している | 10 自分自身が健康でいられている |
| 11 団体・チームの心の支えになっている | 12 日常生活に張り合いができている |
| 13 新しい知識や経験が得られている | 14 指導活動を通して自分自身がスポーツを楽しめている |
| 15 その他(具体的に：
) | 16 特にな |

問 11 あなたが無償または実費程度の謝金等を受けてのスポーツ指導活動を行う上で、問題になっていることは何ですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|---------------------|------------------------|
| 1 指導者や役員等のスタッフ不足 | 2 活動費や運営費の不足 |
| 3 時間的負担が大きい | 4 経済的な負担が大きい |
| 5 指導者の責任が大きい | 6 自分の指導技術や運営能力が未熟である |
| 7 スポーツ指導などの研修機会が少ない | 8 仕事に差し障りがでている |
| 9 社会的評価が得られない | 10 自分の家族や周りの理解が得られない |
| 11 時間が十分にとれない | 12 行政や競技団体との連携がうまくいかない |
| 13 その他(具体的に：
) | 14 特にな |

問 12 あなたは、現在行っている無償または実費程度の謝金等を受けてのスポーツ指導活動を今後も続けたいと思いますか。(〇はひとつ)

- | | |
|-------------|--------------|
| 1 非常にそう思う | 2 ややそう思う |
| 3 あまりそう思わない | 4 まったくそう思わない |
| 5 わからない | |

⇒問 14 (p.5) へお進みください

問 4. 2013 年度、貴団体が主催する事業（競技大会、指導者・審判養成、強化練習会・合宿など）はありましたか。（○はひとつ）

1. あった ⇒ SQ1 へ

2. なかった ⇒ 問 6 へ

SQ1. 2013 年度に主催した事業はいくつありましたか。それぞれ数字でお答えください。

- 競技大会 [] 回（競技大会が 0 回の場合は 問 5 へ）
- 指導者・審判養成 [] 回
- 強化練習会・合宿 [] 回
- その他 [] [] 回

SQ2. 2013 年度に主催した 競技大会 について、貴団体の役職員以外で運営スタッフとして関わった人はいましたか。ただし、競技審判や医師・看護師・トレーナーなどの専門職は運営スタッフに含みません。（○はひとつ）

1. いた ⇒ SQ3 へ

2. いなかった ⇒ 問 5 へ

SQ3. その運営スタッフはどのように募集しましたか。また、募集方法の中で最も有効だったものはどれですか。（最も有効だったものに◎をひとつ、○はいくつでも）

1. 貴団体のウェブサイト
2. 貴団体の Facebook や LINE などの SNS を活用して
3. メーリングリストやメールニュースを活用して
4. 主催事業のポスター・チラシのなかで
5. 自治体の広報誌で
6. 貴団体の機関誌で
7. 他組織との連絡網のなかで
8. 特に募集はしていない
9. その他 []

SQ4. 2013 年度に貴団体が主催した競技大会のなかで、最も参加者数が多かった大会についてお答えください。

- 大会名 []
 - 運営スタッフ 貴団体から [] 人
 - ↳ うち有給の者* [] 人
 - その他から [] 人
 - ↳ うち有給の者* [] 人
 - 審判・医師などの専門職 [] 人
 - ↳ うち有給の者* [] 人
- } ⇒ 問 6 へ

※貴団体から給与を得ている者または当日謝金・日当をもらった者。ただし、食費・交通費の実費の支給は謝金・日当に含みません。

【問 4 の SQ1 で、主催した競技大会が「0 回」と答えた方】または【問 4 の SQ2 で、関わった運営スタッフが「いなかった」と答えた方におうかがいします】

問 5. 今後の主催する競技大会において、貴団体の役職員以外の運営スタッフを活用したいと思いますか。ただし、競技審判や医師・看護師・トレーナーなどの専門職は運営スタッフに含みません。(○はひとつ)

1. 有給（食費・交通費の実費より多額）でも活用したい
2. 食費・交通費の実費なら活用したい
3. 無給なら活用したい
4. 活用したくない
5. わからない

【全員におうかがいします】

問 6. 貴団体の運営や主催事業・大会の運営において、人材に関する問題や課題はありますか。ご自由にお書きください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。